



2021年3月期 決算説明資料

2021年 5月31日 株式会社ヤシマキザイ

(東証2部 証券コード:7677)

YASHIMA

株式会社ヤシマキザイとは

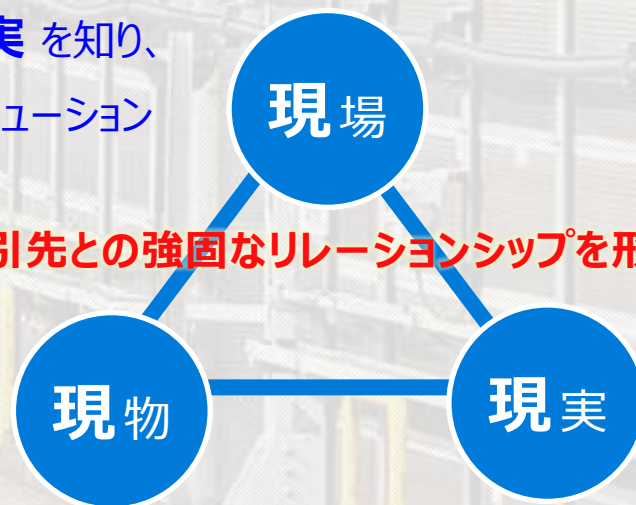
鉄道業界を主な市場として、商材やサービスを提供する商社です

3 現主義を基軸に、鉄道業界で重要なポジションを確立しています

3 現主義とは 10-500

顧客の **現場** に足を運び、**現物** に触れ、**現実** を知り、
顧客のニーズをくみあげ、仕入先に展開し、ソリューション
を組み立てることを意図しています。

取引先との強固なリレーションシップを形成



1. 2021年3月期 通期決算概要	P. 4
2. 2022年3月期 通期業績・配当予想	P.12
3. 2022年3月期～2024年3月期 中期経営計画	P.15
4. トピックス	P.23
5. ご参考資料	P.29

【ご注意事項】

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述している将来見通しとは、大きく異なる可能性があります。



1. 2021年3月期 通期決算概要

- 販売業績の減少に伴い、売掛金・買掛金も減少して流動資産と流動負債が減少
- 現預金は、営業キャッシュ・フローの増加により、6%増加の9,148百万円
- その他の包括利益累計額の増加は、投資有価証券の時価評価差額等による

金額単位 (百万円)	2020/3期	2021/3期	前年同期増減	前年同期比
【資産の部】				
流動資産	22,693	20,423	▲2,270	▲10.0%
（うち、現預金）	(8,618)	(9,148)	(+530)	(+6.2%)
固定資産	3,038	3,256	+217	+7.2%
資産合計	25,732	23,679	▲2,053	▲8.0%
【負債の部】				
流動負債	16,184	13,583	▲2,600	▲16.1%
固定負債	933	1,105	+171	+18.4%
負債合計	17,117	14,689	▲2,428	▲14.2%
【純資産の部】				
株主資本	8,392	8,615	+222	+2.7%
その他の包括利益累計額	221	375	+153	+69.0%
純資産合計	8,614	8,990	+375	+4.4%
負債純資産合計	25,732	23,679	▲2,053	▲8.0%

(参考) 当座比率 (当座資産÷流動負債) 130% → 135%

(参考) 流動比率 (流動資産÷流動負債) 140% → 150%

② キャッシュ・フロー計算書（連結）【連結通期決算概況】

- 営業活動によるキャッシュ・フローの増加により、現預金の期末残高は増加（販売活動に伴う前受金の増加が主な要因）
- 投資活動によるキャッシュ・フローは積立保険料支払いによる減少（前期は同様の支払いがあるも、有価証券売却による収入で相殺）
- 財務活動によるキャッシュ・フローは配当金支払による減少（前期は同様の支払いがあるも、自己株式売却による収入で相殺）

金額単位 (百万円)	2020/3期 実績	2021/3期 実績
売上債権の増減額（▲は増加）	348	2,688
棚卸資産の増減額（▲は増加）	207	▲ 444
仕入債務の増減額（▲は減少）	▲ 604	▲ 2,632
その他	192	1,098
営業C／F	144	709
投資C／F	9	▲ 120
財務C／F	26	▲ 70
換算差額	▲ 20	12
現預金の増減額（▲は減少）	159	530
現預金及び現金同等物の期末残高	8,796	9,326

■ 売上高は前期から減少

鉄道事業は、鉄道事業者の業績悪化を受けた設備投資の減少等により減収
 一般事業は、取引先の需要低迷や生産量の低下によって減収

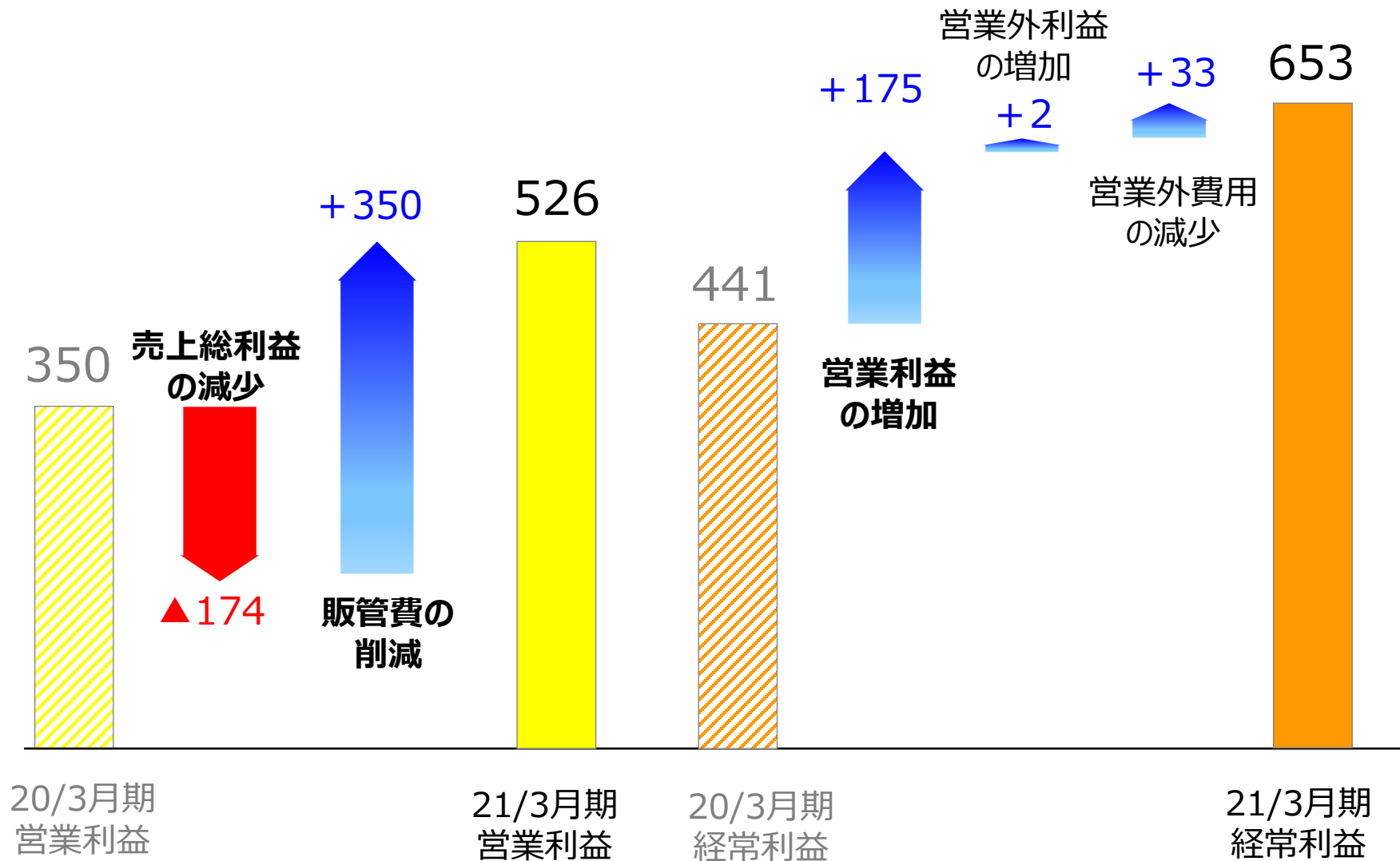
■ 利益面は売上総利益の減少を販管費の削減が補う

売上総利益は前期比▲4.5%だったが、新型コロナウイルス感染症に伴う移動制限等で、出張等
 営業経費が大幅に削減となり、販売費および一般管理費は前期比▲9.8%と営業利益を押し上げ、
 営業利益以下の段階利益は大きく増加

金額単位 (百万円)	2020/3期 実績	2021/3期 実績	増減額 (百万円)	前期比
売上高	36,082	31,828	▲4,254	▲11.8%
鉄道事業	32,865	29,096	▲3,768	▲11.5%
一般事業	3,217	2,731	▲485	▲15.1%
売上総利益	3,930	3,755	▲174	▲4.5%
販売費および一般管理費	3,579	3,229	▲350	▲9.8%
営業利益	350	526	+175	+49.9%
経常利益	441	653	+211	+47.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	248	279	+30	+12.3%
R O E	2.9%	3.2%		

■ 営業利益・経常利益の増加要因

(金額 百万円)



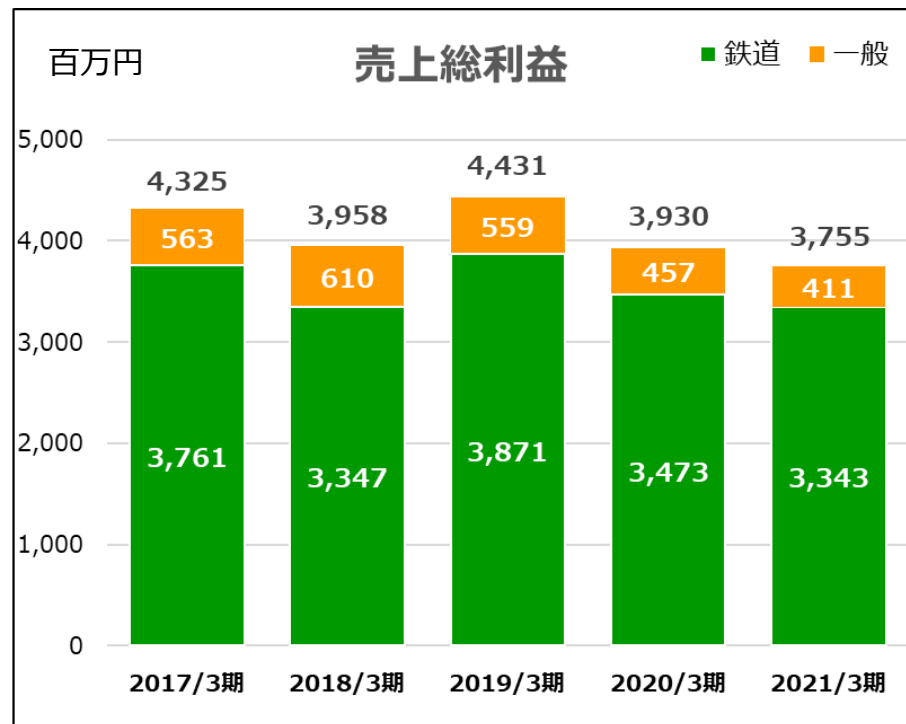
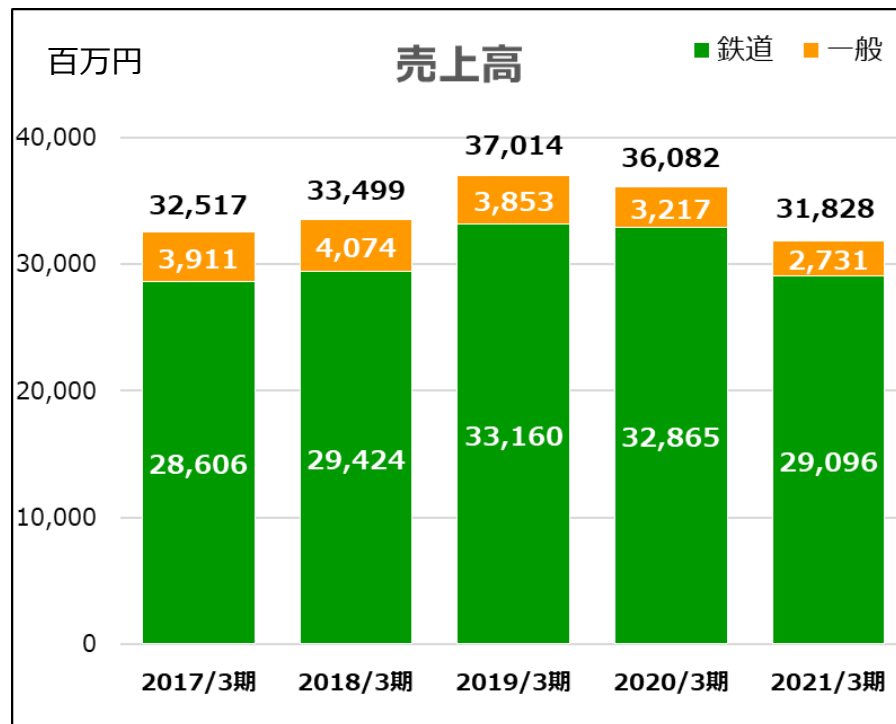
④ セグメント別業績の推移

【連結通期決算概況】

YASHIMA

- ・ 鉄道事業 鉄道事業者や車両メーカー等に車体用品、電気用品等を販売
- ・ 一般事業 鉄道業界以外の産業機器メーカー等に電子部品等を販売

セグメント別 売上高・売上総利益推移



売上高は 鉄道事業▲11.5% 一般事業▲15.1% 減少
売上総利益は 鉄道事業▲ 3.7% 一般事業▲10.1% 減少

⑤ 鉄道事業の売上高

【連結通期決算概要】

YASHIMA

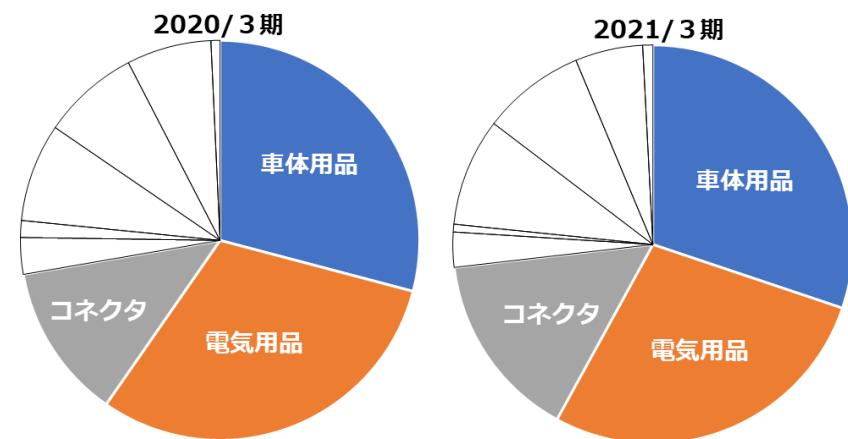
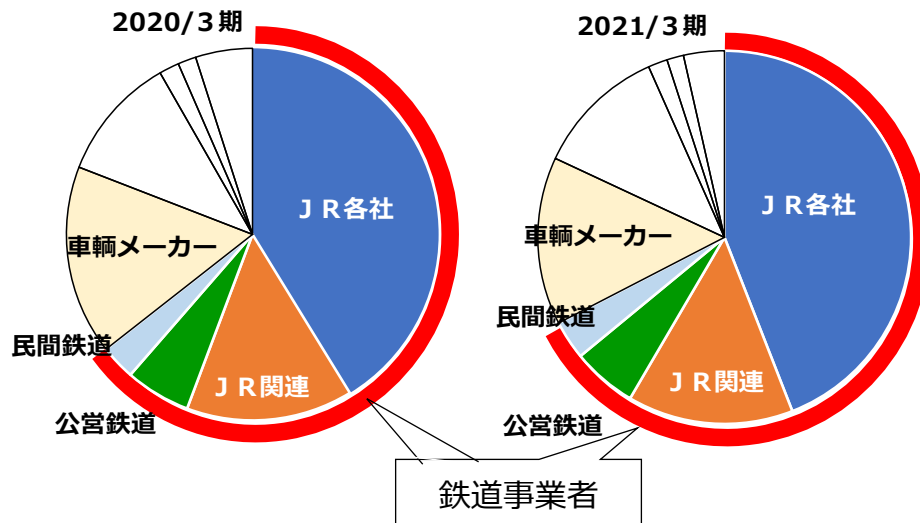
- 業界別では、鉄道事業者および車両メーカー向けの販売が減少
- 商材別では、特に電気用品の販売が減少

業界別 売上高

金額単位 (百万円)	2020/3期 実績	構成比	2021/3期 実績	構成比	増減額	前期比
J R 各社	13,553	41.2%	12,824	44.1%	▲729	▲5.4%
J R 関連	4,760	14.5%	4,180	14.4%	▲580	▲12.2%
公営鉄道	1,864	5.7%	1,627	5.6%	▲237	▲12.7%
民間鉄道	995	3.0%	985	3.4%	▲10	▲1.1%
車両メーカー	5,411	16.5%	4,230	14.5%	▲1,180	▲21.8%
電機メーカー	3,565	10.8%	3,314	11.4%	▲250	▲7.0%
信号メーカー	572	1.7%	488	1.7%	▲85	▲14.8%
運輸関連	521	1.6%	422	1.5%	▲99	▲18.9%
輸出入	1,625	4.9%	1,027	3.5%	▲598	▲36.8%
計	32,866	100.0%	29,097	100.0%	▲3,769	▲11.5%

商材別 売上高

金額単位 (百万円)	2020/3期 実績	構成比	2021/3期 実績	構成比	増減額	前期比
車体用品	9,565	29.1%	8,778	30.2%	▲787	▲8.2%
電気用品	10,049	30.6%	8,090	27.8%	▲1,959	▲19.5%
コネクタ・電子部品	4,139	12.6%	4,422	15.2%	+283	+6.8%
その他車載品	970	3.0%	824	2.8%	▲146	▲15.0%
内燃部品	447	1.4%	183	0.6%	▲264	▲59.1%
各種設備品	2,612	7.9%	2,543	8.7%	▲69	▲2.6%
システム	2,587	7.9%	2,427	8.3%	▲159	▲6.2%
発電電設備	2,255	6.9%	1,590	5.5%	▲664	▲29.5%
その他商材	241	0.7%	239	0.8%	▲2	▲0.8%
計	32,866	100.0%	29,097	100.0%	▲3,769	▲11.5%



⑥ 一般事業の売上高

【連結通期決算概要】

YASHIMA

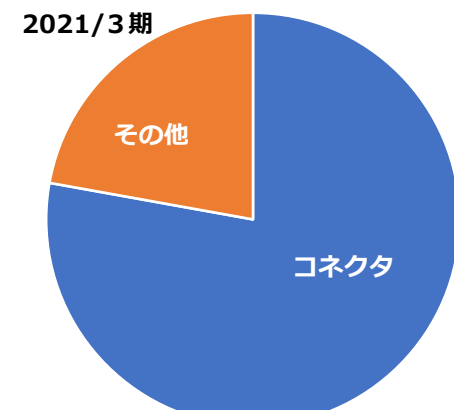
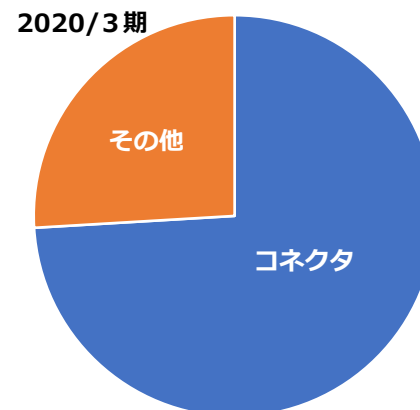
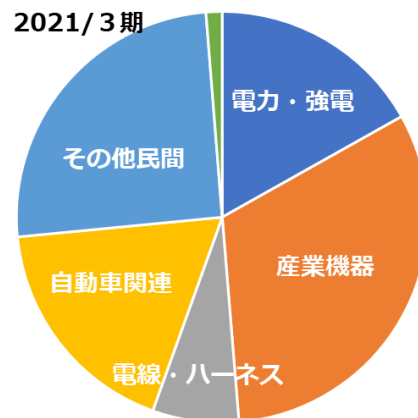
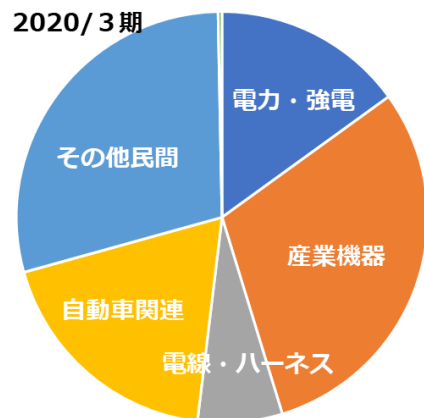
- 業界別では、その他民間企業（自治体含む）の減少が大きく、NEXCO等高速道路事業者への販売が低調
- また、自動車関連、産業機器向けの販売が低調

業界別 売上高

金額単位 (百万円)	2020/3期 実績	構成比	2021/3期 実績	構成比	増減額	前期比
電力・強電	483	15.0%	461	16.9%	▲23	▲4.7%
産業機器	973	30.2%	870	31.8%	▲103	▲10.6%
電線・ハーネス	214	6.7%	185	6.8%	▲29	▲13.4%
自動車関連	604	18.8%	491	18.0%	▲113	▲18.7%
その他民間 (自治体含む)	933	29.0%	690	25.3%	▲243	▲26.0%
輸出入	10	0.3%	35	1.3%	+25	+251.4%
計	3,217	100.0%	2,732	100.0%	▲486	▲15.1%

商材別 売上高

金額単位 (百万円)	2020/3期 実績	構成比	2021/3期 実績	構成比	増減額	前期比
コネクタ・電子部品	2,383	74.1%	2,126	77.8%	▲257	▲10.8%
その他	835	25.9%	605	22.2%	▲229	▲27.5%
計	3,217	100.0%	2,732	100.0%	▲486	▲15.1%





2. 2022年3月期 通期業績・配当予想

- 主要顧客である鉄道事業者では増収増益の予想ながら、設備投資等の発注計画は削減傾向にあり、当社グループの受注環境は厳しい
- 売上高は増収の予想も、案件や商材による売買差益率が異なり、売買差益は前期比マイナスを予想
- 他方、経済活動や営業活動の再開により、販売費および一般管理費は前期比プラスを予想しており、段階利益は大幅な減益の予想

金額単位 (百万円)	2021/3期 実績	2022/3期 予想	前期比
売上高	31,828	32,786	+ 3.0%
営業利益	526	35	▲93.3%
経常利益	653	164	▲74.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	279	100	▲64.2%

記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実や、収益性、成長性、企業体質の強化等を総合的に勘案して、安定的な配当の継続維持を基本方針としております

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期 (予想)
1株当たり年間配当額	25.00円	25.00円	25.00円	25.00円
1株当たり当期純利益	185.80円	89.68円	98.49円	35.21円
配当金総額（合計）	64百万円	70百万円	70百万円	—
配当性向（連結）	13.5%	27.9%	25.4%	71.0%

2022/3期の当期純利益は前期から減少する予想ですが、安定継続配当の面から
1株当たり年間配当額は25.00円を維持いたします



3. 2022年3月期～2024年3月期 中期経営計画

基本目標

ポストコロナに向け、安定成長軌道への回帰

事業環境の変化を見据え、新たな企業価値・存在価値の創出

2024年3月期 R O E 5%

当社グループの主たる取引先は鉄道事業者ですが、コロナ禍で鉄道利用者は減少しており、コロナ以前に策定した計画の遂行は厳しい状況と捉えています。

前期後半に、J R 各社から公表済み中期計画の見直しが公表されました。

J R 東日本 目標達成時期を 2023/3月期 → 2026/3月期へ3ヶ年遅らせて
数値目標（営業収益・営業利益）も当初目標より低減。

J R 西日本 目標達成時期 2023/3月期はそのままながら、数値目標は低減。

J R 九州 目標達成時期 2023/3月期の数値目標を達成困難として取り下げ。

（J R 東海は中期計画未公表）

その他鉄道事業者の事業環境も上記同様であり、また諸外国の鉄道プロジェクトもコロナ禍で計画の停滞や延期等が生じていることから、当社グループの中期計画は“緩やかな成長”を基本としています。

基本方針

既存事業基盤の強化による持続的成長

鉄道分野の事業領域拡大、付加価値の高いサービスの提供

一般セグメント事業の収益性向上、
投下リソースに見合う採算を確保できる体制構築

グローバル市場の開拓・O D A 鉄道インフラ整備案件への参画促進

1 鉄道セグメント

- 公営・民間鉄道分野への一層の注力を図り、受注拡大を目指す
- 検修設備・保線など車両周辺領域への深耕を図る
- 顧客のニーズ、課題と向き合い、新たなビジネスモデルを創出する

取り組み内容

鉄道事業者の設備投資予算の
削減等に対応するため
リース販売等で初期費用低減

既存仕入先との関係強化
新規仕入先の開拓による
商権・商材の拡充

工事契約受注のため資格者の
確保、保線・設備分野の
商材開拓による新分野への進出

2 一般セグメント

- 人的リソースの適正配置と、注力客先への集中した営業展開により業務効率化・生産性の向上を図る

取り組み内容

主力のコネクタ販売はベース基盤として窓口集約やR P A化等で業務効率化とコスト削減を進め、収益性の向上を図る

市場規模が大きい「N E X C O」に対し専任グループを設定し、全国横断的な拡販に努める

3 海外事業

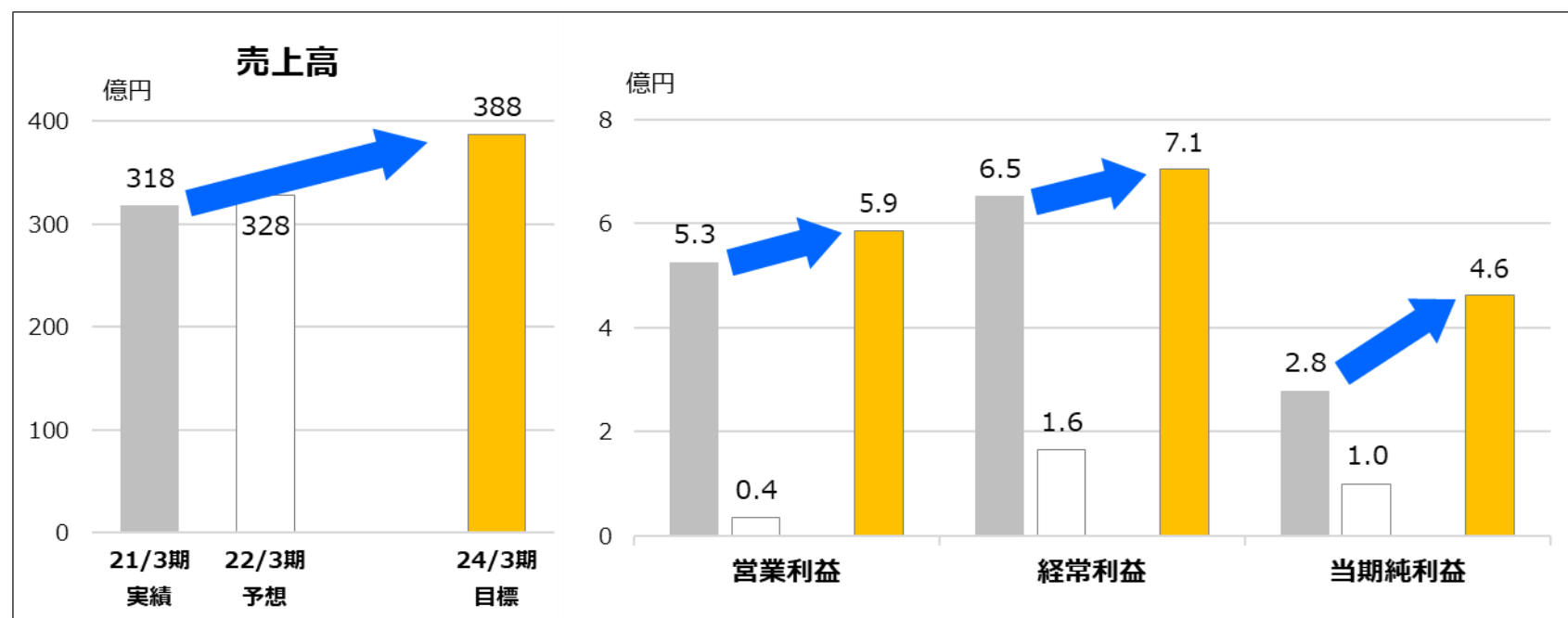
- 海外案件やパートナーとの連携を強化し、O D A 鉄道インフラ整備案件に対応できる体制を強化し、中長期的商圏の拡大を目指す

取り組み内容

鉄道専門商社のノウハウを活かし、総合商社やゼネコンとO D A 案件に上流段階から参画し後の保守需要等、長期的な収益確保を図る

金額単位 百万円

	2021/3期 実績	2022/3期 予想		2024/3期 目標	2021/3期 比較
売上高	31,828	32,786		38,761	+21.8%
営業利益	526	35		586	+11.4%
経常利益	653	164		705	+8.0%
当期純利益	279	100		462	+65.6%
R O E	3.2%			5.0%	



ヤシマキザイグループは、SDGs（持続可能な開発目標）の趣旨に賛同しています。
私たちが今できることを、具体的行動に移し、SDGsが掲げるゴールを目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



⑤ 社会的要求への対応

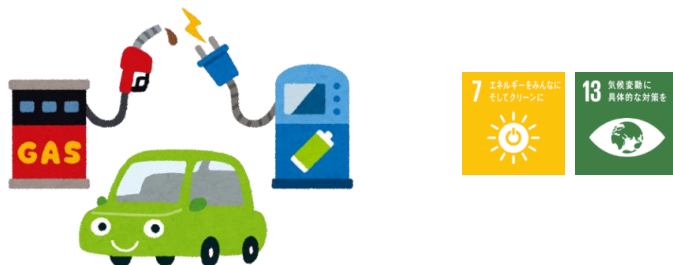
1. 地球温暖化や大気・水質汚染の防止

社内使用の紙類を低減して、ペーパレス化の推進を図り、森林破壊の抑制、地球温暖化や大気・水質汚染の防止に貢献します



2. 二酸化炭素排出量の削減

社用車のハイブリッド車両への入替を促進し、二酸化炭素排出量の削減へ貢献します



3. 社会貢献活動

医療、環境、教育団体への寄付活動や、フードバンクへの備蓄食料寄付を通じて、社会に貢献します

- ・医療（日本赤十字社）
- ・環境（WWFジャパン）
- ・教育団体（日本学生支援機構）



4. 社員が働きやすい環境づくり

働き方改革や健康経営の推進により、ダイバーシティとワークライフバランスの実現を目指します



4. トピックス

1. NEXCO各社への深耕

まだ途上であり、業績を牽引するには至っていませんが、交通インフラ事業者である「NEXCO」各社は、規模が大きく専任グループを設定して、全国的な拡販に努めています。

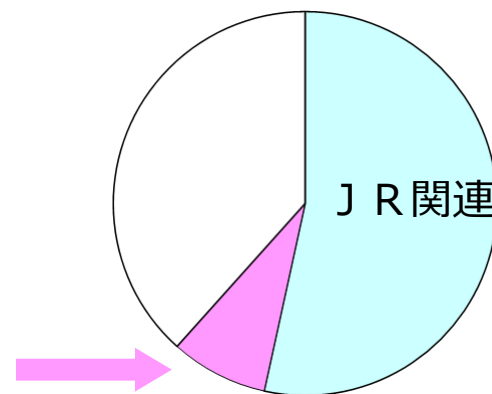
コロナ禍で営業活動には制限もありますが、「NEXCO」各社では、「保全点検業務」、「維持修繕業務」、「商業施設の管理点検業務」など、業務別に子会社を設けていますが、当社ではそれら子会社へのチャネルも構築して、多方面に営業活動を展開しています。



2. 公民鉄事業者への注力

当社は鉄道専門商社として、主として J R 関連各社への販売実績を重ねてきましたが、一方で公民鉄事業者に対する販売は大きくありません。

2021年3月期 売上高
公民鉄向けシェア 9%



鉄道業界は新型コロナウイルス感染症により、旅客収入の減少等、厳しい経営環境にあります。当社グループでは公民鉄事業者への拡販に注力を図り、専任グループを設定して拡販に努めています。

特に中小民鉄事業者では、資金負担軽減の必要性を考慮してリース販売や部品のキット化等、顧客資金負担の軽減につながるソリューションの提案や、商材の拡充等に努めています。

3. 感染症対策商品の販売

長期持続型の抗菌・除菌「Y A Mシリーズ」を販売しています。

「Y A Mシリーズ」の鉄道車両施工実績は**2000両以上**になりました。

また、鉄道車両以外にも宿泊施設や商業施設等に採用いただいております。

抗菌・抗ウイルス
コーティング剤

と

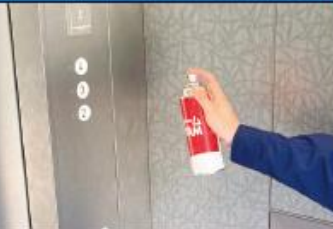
除菌剤

をラインナップ

多くの公共空間でご採用、安心安全な製品です

抗菌タイプと除菌タイプを用意。抗菌タイプは手軽にコーティング施工ができるエアゾール缶式と、コスト面で有利な液体での提供を選べます。
除菌タイプは抗菌コーティング面を保護しながら除菌や汚れの除去ができ、接触感染防止効果を維持できます。

※ 抗菌は空間内を無菌にすることではありません。

抗菌タイプ		除菌タイプ	
	リキッド -YAM-R 18L/ 箱	ルーム -YAM 420ml/ 缶	リキッド -YAM(除菌用) 18L/ 箱
使用イメージ			
対象部位	車両内の広範囲にわたる部分、つり革、持ち手、シート、ドア、壁（天井・床・窓以外）等	車両内のつり革やシート等、椅子やテーブル、及び照明スイッチ等の比較的小面積の対象物	車両内及び室内全般
施工方法	スプレーガン（お客様準備）による吹き付け	エアゾール缶による吹き付け	ハndsプレーを使用し、ウエス等で均一に伸ばして拭きあげる

新型コロナウイルス感染症の影響は予断を許さず、当社を取り巻く環境も厳しい状況にありますが、当社はその活動を通じてステークホルダーの皆様、そして社会に役立てるように努めてまいります。

本日はご多忙中にも関わらず、決算説明会にご参加を頂きまして、ありがとうございました。

これからもヤシマキザイをよろしくお願い致します。

ご清聴、ありがとうございました。

株式会社ヤシマキザイ

2021年 5月31日 2021年 3月期 決算説明会

(説明会会場：日経茅場町別館 B1F カンファレンスルーム)

A blue-tinted photograph of a Shinkansen (bullet train) on tracks with overhead power lines. The train is white with blue accents and is moving along the tracks. The background shows a clear sky and some distant structures.

5. ご参考資料

社 名	株式会社ヤシマキザイ 【英文名】Yashima & Co.,Ltd.					
本 社	東京都中央区日本橋兜町6番5号					
代 表 者	代表取締役社長 高田 一昭					
設 立	1948年10月28日					
資 本 金	9,990万円					
従 業 員 数	267名 (2021年3月末現在)					
事 業 内 容	鉄道関連製品と産業用電子部品の販売、メンテナンスサービスおよび輸出入					
連 結 子 会 社	名称	住所	資本金	事業内容	議決権の所有 (又は被所有)割合	関係内容
	ヤシマ物流 株式会社	東京都 中央区	40,000 千円	鉄道事業、 一般事業	100.0%	物流業務等の委託
	亜西瑪(上海) 貿易有限公司	中国 上海市	1,000 千US\$	鉄道事業、 一般事業	100.0%	商材の仕入・販売 借入債務の保証 役員の兼務4名
	※両社とも特定子会社 ※有価証券届出書又は有価証券報告書を提出している会社はありません。					
海 外 拠 点	デリー支店、ミャンマー支店、ハノイ駐在員事務所、ジャカルタ駐在員事務所、 マニラ駐在員事務所、ロンドン事務所 ■上海会社(現地法人)：上海・青島・深圳					

年月	概 要
昭和23年10月	香西角三郎他 6 名を発起人とし、資本金25万円で東京都中央区に 八洲器材株式会社 として設立
昭和26年 8 月	振興造機株式会社（現 神鋼造機株式会社）と代理店契約を締結
昭和37年 4 月	株式会社日本エヤーブレーキ（現 ナブテスコ株式会社）の販売代理店となる
昭和40年10月	株式会社日立製作所「鉄道車両用品」の旧国鉄向け販売代理店となる
昭和46年 8 月	神鋼電機株式会社（現 シンフォニアテクノロジー株式会社）の販売代理店となる
昭和52年10月	日本航空電子工業株式会社「コネクター及び同関連製品」の特約店となる
平成 2 年 4 月	小糸工業株式会社（現 コイト電工株式会社）「鉄道車両部品」の特定地区向け代理店となる
平成 7 年 4 月	東京都中央区に子会社ヤシマ物流株式会社設立（100%出資）
平成16年 4 月	中国現地法人 亜西瑪（上海）貿易有限公司を設立（100%出資）
平成20年 1 月	三友物産株式会社を子会社化（100%出資）
平成23年10月	日立三菱水力株式会社「水力発電システム」の販売代理店となる
平成25年11月	本社を現所在地に移転（東京都中央区日本橋兜町 6 番 5 号）
平成25年12月	当社の商号を 株式会社ヤシマキザイ に変更
平成29年 4 月	三友物産株式会社を吸収合併
令和元年 6 月	東京証券取引所 市場第二部 に上場

■ 1948年に設立、旧国鉄との取引から始まり70年、鉄道の発展に寄与し成長

ヤシマキザイ主要商材

<インバータ装置>



<座席>



<情報通信・制御機器>



<検測車>



<ドア開閉装置>



<速度発電機>



<運行管理システム>



代表取締役社長
高田 一昭
<2014年就任>

<エンジン部品>



<コネクタ>



第2の創業

'03 秋田

'04 上海

'11 ロンドン
ハノイ

'15 ジャカルタ

'17 インド
'18 ミャンマー

JR・電車の歴史



【国内拠点】

'51 札幌
'51 大阪
名古屋
仙台
広島
水戸
川崎
高松
九州
(静岡 '20 浜松に移転)

【海外拠点】



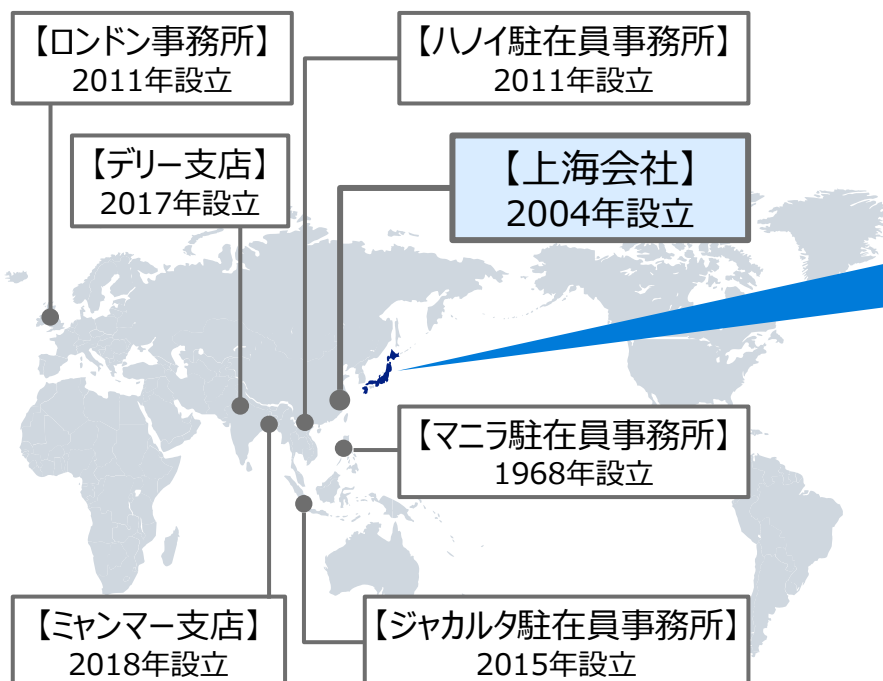
内燃機関 → 電化 → 高速化 → IT化 → グローバル化

1950年代 1960～80年代 1990年代 2000年代 2010年代～

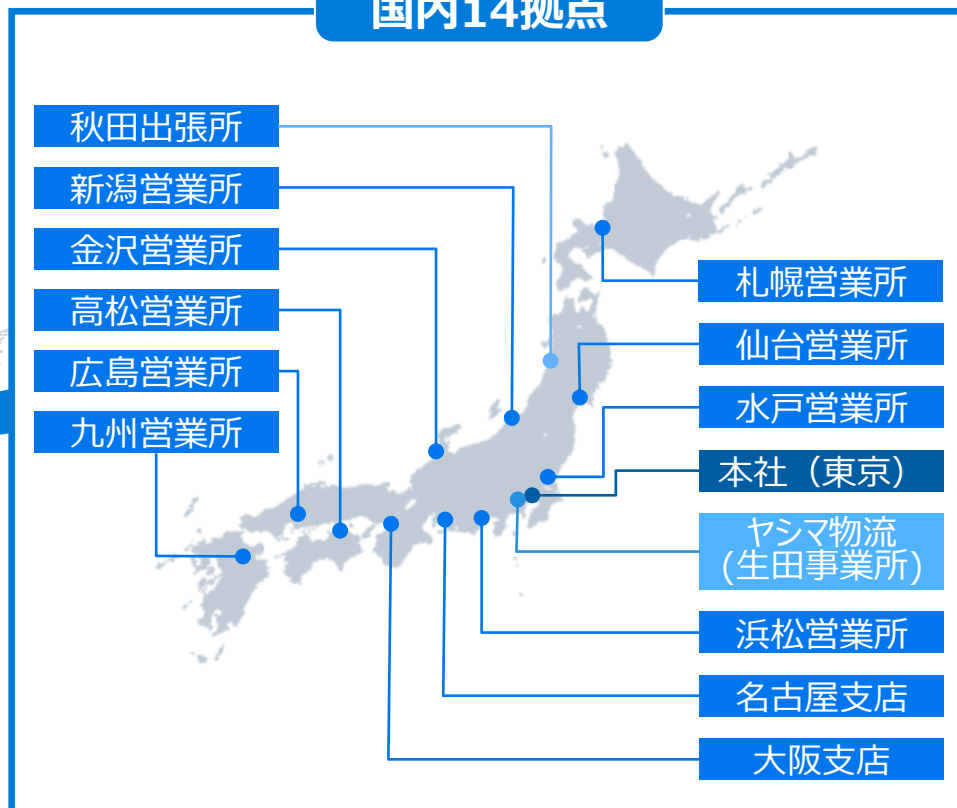
■ 日本全国を網羅する14拠点に加え、海外への展開を進めています

海外7拠点

■ 連結子会社 □ 支店・駐在員事務所



国内14拠点



■ 車両周りをメイン分野とし、幅広い鉄道関連事業を展開

車体用品



ブレーキ制御装置



ドア開閉装置



表示器

電気用品

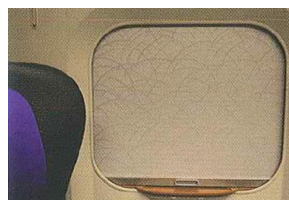


速度発電機

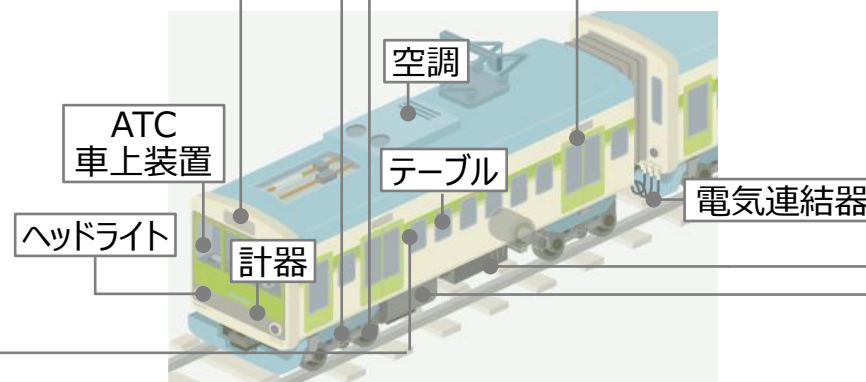


鉄道車両用インバーター

— その他車載品 —



ロールカーテン



— コネクタ・電子部品 —



車両用コネクタ

内燃用品



鉄道用エンジン部品

各種設備品



簡易型輪重測定装置

システム



運行管理システム

発電設備



変電所設備

■ 鉄道事業以外の販売先を対象に、主にコネクタ・電子部品などを販売

電力・強電 業界向け



EV充電器・
充電スタンド



電力用コネクタ



移動電源車



ウルトラファインバブル
生成装置



自動車用ミラー



自動車用コネクタ

自動車関連 業界向け

産業機器 業界向け



産業機器用コネクタ



船用コネクタ



エレベータ用コネクタ



建機用コネクタ



電線



ハーネス

電線・ハーネス 業界向け

感染症対策に！

ルーム-YAM

抗菌・除菌

YAM
シリーズ

鉄道車両施工実績 **2000両以上！！**

施工実績

鉄道車両	室内
日本貨物鉄道株式会社様	株式会社西武プロパティーズ様 (東京ガーデンテラス紀尾井町)
道南いさりび鉄道株式会社様	東京湾横断道路株式会社様
京成電鉄株式会社様	(海ほたるパーキングエリア)
西武鉄道株式会社様	実践女子大学様
箱根登山鉄道株式会社様	太平洋フェリー株式会社様
大井川鐵道株式会社様	株式会社奈良ホテル様
能勢電鉄株式会社様	琵琶湖汽船株式会社様
平成筑豊鉄道株式会社様	

他にも、多くの鉄道事業者様や宿泊施設、大規模商業施設等への採用例があります。





東証二部 証券コード：7677

株式会社ヤシマキザイ <https://www.yashima-co.co.jp/>

【お問い合わせ先】 経営企画室

TEL：03-4218-0096

E-mail：contact-ir@yashima-co.co.jp

MEMO